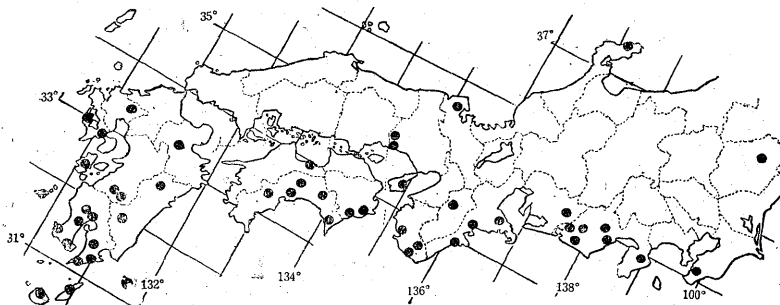


○マツバランの分布について (正宗嚴敬) Genkei MASAMUNE: On the geographical distribution of *Psilotum nudum* Beauv. in Japan.

マツバランは東亞熱帶地域に普通な植物で、南はニュージーランド、北は日本南部に亘り分布することが知られており、九州、四國の南部及び和歌山、三重、静岡の諸縣下などでは大して珍らしいものではなさそうであるが、私の知る限りでは、裏日本ではまだその産地のはつきりしたもののがなかつた。所が昭和25年9月、能登半島の北端近く、珠洲郡曾々木の海岸近くの照葉樹林の林床で、落葉の内にうずもれて、數本のマツバランが自生しているのを發見した。

マツバランは九州南部、琉球、臺灣などで私の實見したものでは、着生の場合が多かつたが、能登では地表植物の生活型を取っている。したがつてマツバランの生活型は一定していないことがわかる。

私はここでマツバランの日本での北限の産地を發見したので、その分布を詳しく知りたく思つたので、知友に御願したり、自分で採集したり、諸標品庫の標品を見せていただいたりなどして得た結果が、ここに掲げた地圖に示したような状態になつた。



これだけの事實からマツバランの分布についてなにか、植物地理學に貢獻する結果を得ようとするのは早計であるが、次のような想像をすることはゆるされるのではないかと考える。

裏日本として、マツバランの正確な産地が發見された。

能登の曾々木の産地は、本種の日本での北限の産地と考えられる。ここではその生育の様子がよくないので、これは一つの遺存的のもので、これから分布侵入して行こうとしているものとは考えられない。

産地として地圖にあげた所内、特に必要と思われるものは、栃木縣鹽谷郡、船生村佐貴。千葉縣鋸山。(金澤大學、理學部、植物分類學研究室)

*Psilotum nudum* Beauv. was recently found at Sosogi in Noto-Peninsula which stretches out into the Japan Sea. The geographical distribution of *Psilotum nudum* Beauv. in Japan is shown in the map.